

## &lt;新規就農者の確保又は認定農業者の育成に取り組む事例&gt;

## ○新規就農者受け入れ環境の整備

## 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>てしおぐんてしおちよう</small> 天塩郡天塩町 <small>てしおちよう</small> 天塩町			
協定面積 7,028ha	田	畑	草地（100%）	採草放牧地
			牧 草	
交付金額 10,543万円	個人配分 48.3 %			
	共同取組活動 (51.7%)	集落の管理体制に係る経費 2.2 %		
		農業生産活動 23.2 %		
		農業生産活動等の体制整備 25.3 %		
		その他 1.0 %		
協定参加者	農業者 137 人、2法人			開始：平成12年度

## 2. 取組に至る経緯

天塩町集落では、今後営農を継続するに当たり、特に集落協定者の高齢化、さらに後継者不足から将来の地域農業の衰退や耕作放棄地の発生が喫緊の課題であることから、後継者対策、特に新規参入者の受入促進に取り組むこととし、これまで実施し続けている。

## 3. 取組の内容

北海道農業担い手育成センター等が開催する就農相談会での天塩町の新規就農受入体制等の PR やトレーラーハウス・スーパーハウスを整備し、実際に新規就農研修等の研修時の環境整備を実施。

この取り組みについては、第2期対策より実施し、平成21年度1組、平成23年度1組の新規参入者を確保することができ、着実に成果を残している。



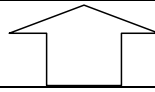
【トレーラーハウス】



【就農相談会 様子】

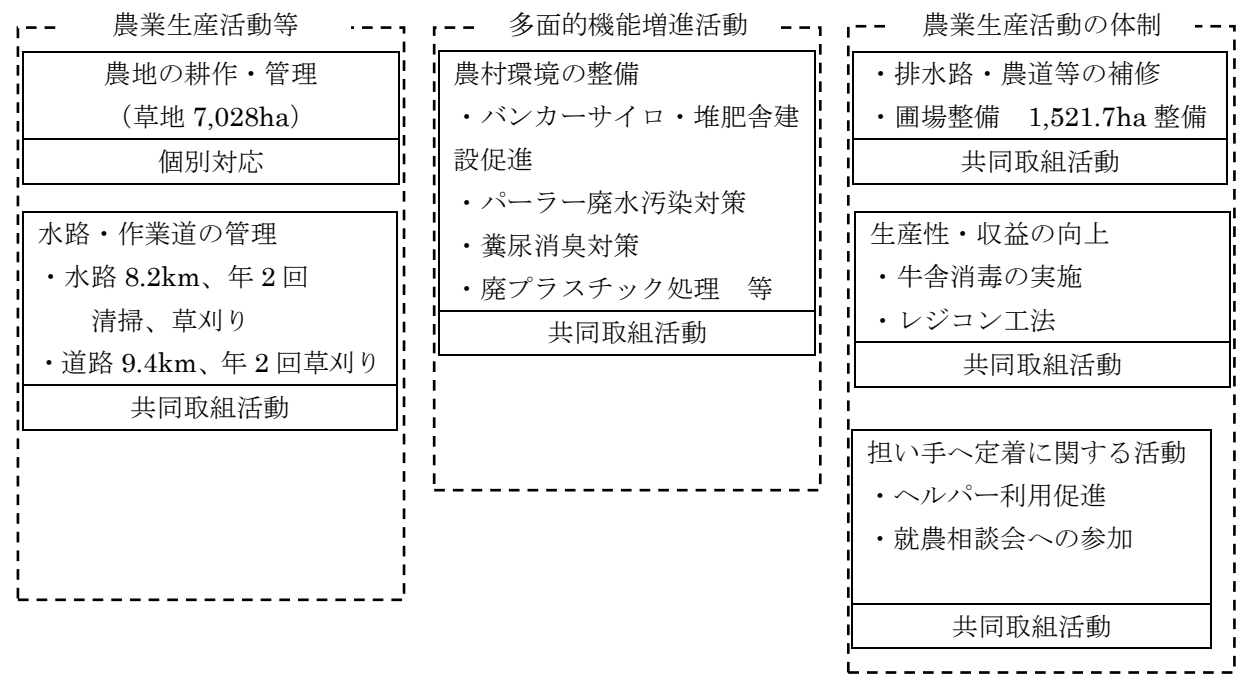
#### 〔集落の将来像〕

○協定参加者の高齢化、後継者不足より離農する協定参加者が今後とも生じてくることが予想されることから、少しでも多くの新規参入者を確保し、共同取組活動を通じた地域農業のつながりを強め、耕作放棄地の発生を防止する。



#### 〔将来像を実現するための活動目標〕

○ 新規参入者をより多く受け入れるため、就農相談会への積極的な参加と共に天塩町の受入体制のピーアールを行い、また環境整備として、トレーラーハウス・スーパーハウスの整備等を行い、新規就農者の確保を図る。



## 4. 今後の課題等

近年環境に対する意識の向上から、更なる環境への負荷を軽減する取り組みが求められると共に、当該取り組みが今後の農業生産活動の継続の新たな負担とならないよう軽減措置を図るなどの取り組みが必要となる。

また、高齢化・後継者不足による農家戸数減少に歯止めがかからない状況から、更なる新規参入者確保などの担い手対策や農作業の分業化等を進め、魅力のある農業へ移行を推進する必要がある。

#### 〔第 2 期対策の主な成果〕

- ・堆肥舎の建設促進（当初66戸、目標132戸、H21実績127戸）
- ・バンカーサイロ建設促進（当初5か所、目標20か所、H21実績18か所）
- ・新規就農者確保（当初3名、目標7名、H21実績7名）
- ・認定農業者の育成（当初36戸、目標80戸、H21実績96戸）